



# 県立三好病院

平成27年1月・2月号



院長 住友 正幸

あけまして☆  
あめどう  
☆ごぞいます

あけましておめでとうございます。三好病院の高層棟が完成してはや4ヶ月が経過しました。新しい病院はみなさまの治療や療養のお役に立てていますでしょうか。

さて、新高層棟の放射線照射装置が数々のテストを経て、2月にいよいよ稼働予定となりました。これでがん治療の「フルセット」装備が整います。放射線治療は、肺や食道のがん、転移性脳腫瘍などに良い適応があります。また、骨の転移など、痛みを抑えるのにも力を発揮します。

今年の三好病院の目標のひとつは、高度な医療を標準化してお届けすること。放射線治療のほか、胸腔鏡や腹腔鏡といった内視鏡で行う手術の標準化も進んでいます。

そしてさらには、やさしさをお届けすること。緩和ケア病棟では全人的医療を目標としていますが、緩和はがんのみならず、すべての医療の基礎。常にケアの視点を忘れない医療を提供して行きたいと思えます。

美しい三好の地に、魅力的な病院を創る。そして仲間を増やして行く。今年もチャレンジングな三好病院をよろしくお願い申し上げます。



今月の特集：三好病院の緩和ケアと緩和ケア病棟

# 三好病院の緩和ケアと緩和ケア病棟



緩和ケア内科 安藤 勤

## はじめに

三好病院は、平成26年8月24日に新高層棟をオープンしました。従来からの手術、抗がん剤治療に加え、2月からはリニアックを用いた「放射線療法」が開始され、フルセットのがん治療が可能となります。新高層棟のオープンと同時に公立病院としては徳島県初の緩和ケア病棟が開設され、初期の治療から緩和ケアまでの一貫したがん治療が可能となりました。ここでは、緩和ケアと緩和ケア病棟について皆様にご紹介いたします。

## 緩和ケアのイメージ

緩和ケアについて皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。「治療をせずに寝かされているだけ」、「終末期の人がいくところ」などと、良い印象を持たれていない方が多いのではないのでしょうか。

では、なぜ緩和ケアはこのような印象を持たれているのでしょうか？平成24年に緩和ケアの学会である日本緩和医療学会が、一般の方々に行ったアンケートでは、4人のうち3人が緩和ケアを詳しく知らないと答えています。このことからわかるように、緩和ケアに対する認知度の低さが、緩和ケアの印象の悪さの原因となっていると考えられます。平成18年に成立したがん対策基本法では、重点的に取り組む課題の一つとして「治療の初期段階からの緩和ケアの実施」を掲げています。緩和ケアは手術、抗がん剤、放射線治療と同じがん治療の一つの柱と位置づけられており、緩和ケアへの啓発活動が重要な課題となっています。

## 緩和ケアとは

苦痛をやわらげることを目的に行われる医療的ケア（医療行為）のことを緩和ケアといいます。日本緩和医療学会は、緩和ケアを「重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア」と定義しています。現在では、がんと診断されたときから、がんそのものの治療と一緒に緩和ケアを受けることが大切だと考えられています。がんの進行度に関わらず、身体や心のつらさがあれば緩和ケアの対象になります。実際、早期からがんの治療を受けながら同時に緩和ケアを受けると、緩和ケアを受けなかった場合に比べ、生活の質を向上するばかりか、生命予後も良くなると報告されています。

## 全人的苦痛とチーム医療

では患者さんやご家族の痛み（つらさ）には、どのようなものがあるのでしょうか。

図に示しました様に、体の痛み、息苦しさ、だるさのような身体的苦痛、仕事のこと、経済的なこと、人間関係など社会的苦痛、不安、いらだち、孤独感などの精神的苦痛、そして死の恐怖、苦しみの意味などの霊的苦痛（スピリチュアルペイン）というものがあります。これらを全人的苦痛といい、がん患者の方々の痛み（つらさ）は多面的であり、全人的にとらえないと痛み（つらさ）のケアは出来ないと考えられています。このため医師、看護師のみならず、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーでチームを作って緩和ケアを行っています。



## 三好病院の緩和ケア

三好病院では、緩和ケアを ①緩和ケア外来、②緩和ケア病棟および ③一般病棟（緩和ケアチームが活動）などで行っています。それぞれ連動して切れ目のない緩和ケアを提供できる体制を整備しています。

早い時期から患者さんやご家族に寄り添い、痛みやつらさの予防と治療ができるような環境づくりにつとめたいと思います。

## 緩和ケア病棟

当院の緩和ケア病棟は、病院の最上階の病棟（7階）にあります。四季折々の山の姿や吉野川の流れなど、慣れ親しんだ池田の美しい風景をご覧になりながら、ご家族と一緒に療養することができます。

また、当院の特徴として、屋上庭園が併設されており、天気のよい日には散歩を楽しんだり、季節の花々を育てたりすることができます。



屋上庭園

## 入院設備について

- ① 全室個室20床：テレビ、冷蔵庫、トイレ、シャワーがついています。また、スペースが広く、眺望のよい有料個室（10床）も備えています。
- ② 家族控え室：緩和ケア病棟には患者さんのご家族のための家族控え室を準備しています。
- ③ 多目的ラウンジ：患者さん、ご家族のくつろぎのスペースとしてご利用いただけます。また、年間を通しての催し物などを行う場として使用します。
- ④ ファミリーキッチン：患者さんのお好きな物をご家族が準備するためにご利用いただけます。



特別室（有料）



多目的ラウンジ

## おわりに

三好病院の緩和ケアは、地域の先生方と連携し、患者さんに寄り添った緩和医療を提供して行くことを想いとしています。緩和ケアに対する疑問や質問があれば三好病院外来のがん相談窓口（地域医療センター 内線1151）にご相談ください。



### ～県立病院事業基本理念～

県民に支えられた病院として  
県民医療の最後の砦となる

発行 徳島県立三好病院 広報委員会  
〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2  
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910

### 臨時看護師募集

県立三好病院では  
臨時看護師、臨時准看護師を  
随時募集しています。  
詳しくは県立三好病院看護局  
（内線1204）まで

御意見・御要望がございましたら、ホームページ、または院内御意見箱までお願いします。  
広報バックナンバーは、ホームページにて御覧になれます。

